



当社は、東通原子力発電所1号機の再稼働を目指し、原子力規制委員会による新規制基準適合性審査に適切に対応するとともに、所員一丸となって安全対策工事や設備の保守管理に取り組んでいます。

運転停止の状態が続く中、現在、発電所では、どのような業務を行っているのか、所員の日常をシリーズでご紹介します。

今回は、土木建築課の小野寺仁志（鶴田町出身）です。

プロフィール

土木建築課
小野寺 仁志（あのでら ひとし）



青森県北津軽郡鶴田町出身。2016年入社。
東日本大震災を経験し、電気が日々の生活に必要不可欠であることを再認識、自分も地域に貢献したいと思い入社を決意。
学生時代は野球に取り組む。現在は、キャンプ、釣り、バイク、スノーボード、ギターなど多種多様な趣味の持ち主。

現在、どのような業務を担当していますか。

主に構内道路や取水路・放水路の保守ならびに地震・津波などの災害発生時に対応するため配備されたホイールローダなどの重機の管理業務を担当しています。

今日は、どのような作業を行ったのですか。

日々、行っている点検として、がれきや倒木などにより発電所構内の道路が通行できなくなる事態に備え、配備しているホイールローダの点検を行いました。災害発生時には迅速に出動できるよう、点検をしっかりと行なうことが大切です。また、電源車など災害復旧に必要な車両が円滑に通行できるよう、繰り返し訓練を行い重機の運転・操作力向上に努めています。



点検箇所は指差呼称でしっかり確認



ホイールローダの運転訓練の様子

業務を進めるうえで心がけていること、注意していることなどを教えてください。

職場の仲間や協力会社の方々と常にコミュニケーションをとり、些細な情報でも共有するよう心がけています。多くの情報を共有することで工事が円滑に進むものと思います。
また、何がトラブルが発生した場合には先手先手で対応できるよう、どのように行動しなければいけないのか、常に意識するようにしています。

最後に、再稼働への思いや今後の抱負などについて教えてください。

2016年に入社したとき、すでに当発電所は運転を停止していました。再稼働に向け、日々の業務に一生懸命取り組んでまいります。
また、担当業務に関する知識を深めるため、土木施工管理などに関わる資格取得を目指します。

安全維持点検を実施しています

当発電所では、現在、7回目となる安全維持点検を実施しています。

1号機は、2011年2月から第4回事業者定期点検の開始に伴い、運転を停止しています。運転停止が長期化していることから、設備の状態を詳しく調べ健全な状態を維持するため、繰り返し計画的に点検を実施しているものです。

安全維持点検では、さまざまな点検を実施していますが、その中から今回は、機器の冷却に使用する海水を取り入れる取水路の点検を紹介します。

取水路は常に海水で満たされているため、取水路内の水抜きを行なう上で点検をします。水を抜いたあと、水路に付着した貝殻などを取り除くとともに、コンクリートにひび割れがないか、貝殻などの付着を抑制する塗料が落ちていないかを確認しました。

今回の安全維持点検は2021年12月まで実施する予定です。今後も、細心の注意を払い、設備の状態をきめ細やかに点検し、設備の維持・保全に努めてまいります。

〈取水路点検の様子〉



海水を抜き取りした直後の取水路



貝殻などを取り除いた状態の取水路



コンクリートの状態など丁寧に確認

トントウビレッジからのお知らせ



「トントウの世界からくり人形展」

からくり仕掛けの人形や模型を見て・触れてモノが動く仕組みを体験しよう！

開催日時：11月13日(土)～11月28日(日) 9時30分～16時30分

※休館日 月曜日(11月15日、11月22日)

開催場所：東通原子力発電所PR施設「トントウビレッジ」

青森県下北郡東通村大字小田野沢字見知川山1-809

入 場：無料（密集・密接を避けるため混雑時には入場制限を行う場合があります。）

内 容：・自動人形や機構模型展示

「スパゲッティを食べる男」

「クマネコ」ほか

・来館プレゼント

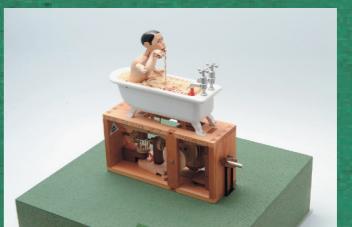
(小学生以下・なくなり次第終了)

※内容が変更になる場合がございますので、

ご了承ください。

《問い合わせ先》

東通原子力発電所PR施設 トントウビレッジ Tel0175-48-2777



スパゲッティを食べる男
(展示イメージ)